

質問事項に関する回答書

(件名)磐越自動車道 龍ヶ嶽トンネル工事

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
1	4月15日	(貸与品) ア)磐越自動車道 黒森山トンネル詳細設計- REPORT1C	2-1-30		REPORT1C 数量計算書(2-1-30) 鏡吹付コンクリート(4)においてC2-L(H)-K(L)の1発破進行長が1.0mとなっていますが、1.2mの間違だと思います。64箇所ではなく53箇所で11箇所減り吹付数量が105.3m <sup>3</sup> ではなく87.2m <sup>3</sup> ではないでしょうか。	閲覧資料に関する質問にはお答えできません。 なお、割掛対照表参考内訳書の数量の通りです。
2	4月15日	02-1_金抜設計書	B-12頁		02-1金抜き設計書の番号135,137,138各計測工Bが3箇所となっていますが、136の計測工Bロックボルト軸力試験のみ3本となっています。3箇所の間違いでないでしょうか、ご教示ください。	R6.4.16当社HP掲載の「質問に対する回答書28(番号20)」をご確認ください。
3	4月15日	06-3_設計図 02-1_金抜設計書	132~135 B-12頁		06-3設計図(龍ヶ嶽トンネル編)132~135/191計測工図(6)~(9)では計測工Bの断面が4断面有りますが、02-1金抜き設計書の番号135~138では計測工Bでは3箇所となっています。125/191計測工割付図(1)よりD2-a(H)-K、D2-L(H)-K(R)、D3a-A(H)-Kの3断面が図示されていることから、上記3断面分と考えて良よろしいでしょうか、ご教示ください。	金抜設計書の番号135~138及び設計図(龍ヶ嶽トンネル編)125/191のとおりです。 また、R6.4.16当社HP掲載の「質問に対する回答書28(番号20)」をご確認ください。
4	4月15日	02-1_金抜設計書	B-12頁 B-9,10頁		02-1金抜き設計書の番号136ロックボルトの軸力試験の3箇所×各5本=15本分は、項目番号12-(3)ロックボルト工の中で数量を控除されているのでしょうか、ご教示ください。	控除しておりません。
5	4月15日	06-3_設計図	134		06-3設計図(龍ヶ嶽トンネル編)134/191の計測工D3a-A(H)-Kの数量表の数量が5箇所となっていますが、設計図を正とすれば、ロックボルトの軸力測定以外の地中変位測定、鋼アーチ支保工の応力測定、吹付コンクリートの応力測定の数量は各4箇所でないでしょうか、ご教示ください。	設計図(龍ヶ嶽トンネル編)134/191に示すD III a-A(H)-K断面の数量表のとおりです。
6	4月15日	06-3_設計図	65,66		06-3設計図(龍ヶ嶽トンネル編)65/191避難連絡坑一般図(9)において、上り線STA.791+9.0の避難連絡坑の覆工未施工区間 L=8.0m(C2-K-S1 L=1.88mを含む)には66/191避難連絡坑扉部一般図を見ると覆工未施工区間 L=8.0mより外れることから扉部の施工は無いと考えてよろしいですか、ご教示ください。	設計図(龍ヶ嶽トンネル編)65/191のとおりです。 なお、扉部の新設は本工事の対象外となります。
7	4月15日	03_数量明細表 (貸与品) ア)磐越自動車道 黒森山トンネル詳細設計- REPORT1C	3-1-47	数量明細表(6)	コンクリートT3-4 C2-S1は03数量明細表(6)では58.2m <sup>3</sup> となっていますが、REPORT1C数量計算書3-1-47のC2-K-S1の③8.9+④2.8=⑦10.3m <sup>3</sup> となっていますが、11.7m <sup>3</sup> の計算違いと思われます。58.2+1.4=59.6m <sup>3</sup> ではないでしょうか、ご教示ください。	閲覧資料に関する質問にはお答えできません。 なお、数量明細表の数量を正とお考えください。
8	4月15日	06-3_設計図 02-1_金抜設計書	66,67 B-8頁		06-3設計図(龍ヶ嶽トンネル編)66、67/191避難連絡坑扉部一般図、詳細図よりの扉部はⅡ期線側壁覆工面より3mの位置にあるためC2-K-S2、D1-K-S2、D2-K-S2に掘削は含まれると考えられますが、02-01金抜き設計書トンネル掘削の番号85、87、89の各C2-K-S1、D1-K-S1、D2-K-S1の数量44.2m <sup>3</sup> 、23.1m <sup>3</sup> 、27.0m <sup>3</sup> に扉部の掘削数量が入っていると思われます。各トンネル掘削数量はそのままとしてよろしいでしょうか。	設計図(龍ヶ嶽トンネル編)66、67/191のとおりであり、各トンネル掘削数量は金抜設計書のとおりです。
9	4月15日	03_数量明細表		数量明細表(8),(9) 数量明細表(13),(14)	03数量明細表-項目番号12-(1)トンネル掘削計297,183m <sup>3</sup> と12-(6)ずり処理計297,181m <sup>3</sup> はほぼ同数なので、トンネル掘削ずりはすべて本線外盛土場①~⑤へ運搬処置されます。項目番号12-(7)インバート埋め戻し工20,042m <sup>3</sup> の埋戻し土は、本線外盛土場①~⑤から再運搬になるのでしょうか、もしくは購入土になるのでしょうか、ご教示ください。	R6.4.16当社HP掲載の「質問に対する回答書28(番号14)」をご確認ください。